

《専門教育科目 幼稚園教諭免許状関連科目 教育相談等》

科目名	幼児理解と保育方法				
担当者氏名	山田 薫、中村 妙子、兼任講師				
授業方法	講義	単位 卒業の必修・選択	2・選択	開講年次・開講期	1年・後期
科目 / 施行規則に定める 科目区分又は事項等	(幼) - 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 (幼) - 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む)				

《授業の概要》

保育の方法は幼稚園教育要領などに示されるような、これまでの実践の積み重ねから築き上げられた土台がある。しかし、どの子どもにもどんな時場合にも通用する唯一絶対の正解は無い。従って子どもたち一人一人の姿や育ち、関係などを観察・理解し基本を踏まえながら、その時その場で保育方法を紡ぎ出す必要がある。本授業では、子どもを観察・記録し、他者と共有しながら保育を省察する方法を概説していく。次に、子ども理解に基づいて、遊び・人との関わり・生活など様々な場面での援助の方法を実践の映像や記録などの資料を提示しながら説明し、基本的な援助・指導方法を踏まえながら、多様な保育方法を発想し検討する力の基礎を養う。

《授業の到達目標》

1. 保育方法の基本的概念及び子ども理解の方法について理解する。
2. 子どもや保育を観察し、記述し、他者と共有し省察する力を身につける。
3. 遊び・人とのかかわり、生活等の援助・指導方法の基礎を理解する。
4. 子どものすがたや場面に応じた多様な保育方法を考えることができる。
5. 保護者の子どもの育ちへの思いを理解し、子どもの育ちを共有しあう方法を考えることができる。

《成績評価の方法》

課題(ワークシート)50%、平常点30%、小テスト20%

《参考図書》

「幼稚園教育要領解説」(平成30年3月文部科学省)「保育所保育指針解説」(平成30年3月厚生労働省)「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(内閣府・文科・厚労省)

《教科書》

プリント等を適宜配付します。

《科目番号 / 担当形態 / 免許資格の必修区分 / 備考》

科目番号：A04  
担当形態：クラス分け  
幼稚園教諭：必修  
保育士：-  
備考：アクティブラーニング

《担当教員の實務経験と授業の関連》

幼稚園教諭・園長・認定こども園園長等の勤務経験をもとに、実践的な講義を行う。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容 / 学習課題【予習復習・時間】
1	保育方法の基本的概念	保育方法の基本的概念である「指導・援助」「環境」「活動」「保護者との協働」などの概念を学ぶ/教育実習の記録を読み返し、子どもとの関わりで難しかったことを思い起こしておく【30分】
2	子どもと保育の観察	観察の意義と方法について学び、VTRを通しての観察記録を作成する/ビデオ視聴を通じて、「幼児観察記録」を作成する【30分】
3	子どもと保育の観察	観察記録をもとに省察を行い、「個と集団の関係」「活動における内面」の読み取りを行う/観察記録を整理し、自分なりの省察を行っておく【30分】
4	子どもと保育の観察	観察記録によるディスカッションを通し、保育の課題の明確化と保育の方向性の検討を行う/ディスカッションを通じて気づいたことを踏まえて、観察記録を完成する【90分】
5	遊びと保育	子どもにとって遊びの意義を考えるとともに、遊びの発達の概要を学ぶ/子どもの頃の遊びを思い起こし、その面白さがどのようなものだったのかを考えておく【30分】
6	保育の実践と子ども理解	保育実践の基礎としての子ども理解の意義と子ども理解の視点について学ぶ/教育実習の記録を読み返し、観察や保育者の指導から学んだ子どもの見方を理解しておく【90分】
7	生活と保育	基本的な生活習慣を育てる保育方法を学び、保護者とともに子どもの生活力を育む方法を検討する/実習等で子どもの基本的な生活習慣の援助に関わったエピソードを一つ思い起こしておく【90分】
8	遊びと保育	遊びにおける保育者の指導・援助の基本、環境構成の在り方を考える/実習等で子どもの遊びに関わった際、どのような言葉かけや対応をしたかを整理しておく【30分】
9	遊びと保育	VTRによる遊びの観察をもとに、次の保育の計画を、保育方法や環境構成に焦点化して検討する/遊びの観察をもとにした保育の計画を作成する【30分】
10	人とのかかわり	仲間関係を育てることの意義を考えるとともに、人とのかかわりが育つ道筋を学ぶ/実習等で保育者と子どもとの信頼関係を感じた出来事の一つ思い起こしておく【30分】
11	人とのかかわり	「トラブル」を通じて育まれるものを検討すると共に、その意味を保護者に伝える方法を検討する/実習等で子どものケンカに自分や保育者が対応したエピソードを一つ思い起こしておく【30分】
12	保育の中の行事	生活発表会、運動会などの行事の意義と方法を学び、保護者とともに子どもの育ちを共有する方法を学ぶ/行事の意義と方法について、ビデオ視聴を通じて、具体的に読み取れた内容を整理する【90分】
13	授業内容のまとめ	子ども理解から保育方法へ/2回生の実習等に活かせるように授業全体を振り返る【30分】
14	育みたい資質・能力と保育方法	【課題研究】保育を通して育みたい資質・能力とそれを実現するための保育方法について学ぶ/幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を読んでおく【90分】
15	生活と保育	【課題研究】「生活の主体としての子ども」をキーワードに、保育における「生活」の意義を学ぶ/倉橋惣三の「生活を生活で生活へ」という言葉の意味を実習等の経験に関連づけて整理する【90分】